

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	MK	学部・学科	国際教養学部
学 年	3 年	派遣国	カナダ
派遣大学	ヒューロン大学		
期 間	2024 年 9 月 1 日～ 2025 年 4 月 30 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	なし	冷暖房	○	冷蔵庫	○ (自分で借りる)
滞在費	約 (2 3 万) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (1) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	0 円	ミールプランがあるため基本的には 0 です。
学用品購入費	0 円	教科書は基本的には買わなくて平気で、ノートなども日本から持参したため 0 です。
交通費	0 円	市内バスの年間パス (3 万・学生証に内蔵) を払っているため基本的には 0 です。
交際費	35000 円	カフェなど、友人と外出・外食。友人の誕生日プレゼントなど。
その他	5000 円	コインランドリー (2500) 携帯費 (2500)
合計	40000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

大学周辺は学生しかおらず、学生が住んでいる地域なので安全です。キャンパス内にもセキュリティポールという柱があり、何か危険があればその柱についているボタンを押すと警察が来てくれます。そのため、0時を過ぎてもキャンパス内・周辺なら一人でも歩けます。また友人たちが住んでいるロンドンの西側も比較的安全そうでした。住宅地も静かで平和で、同じように学生が多く住んでおり小学校などもあるので特に心配するような事件や事故、不審者は見かけたことがないです。

一方でロンドンの中央とその東側にあるダウントウンは危ないです。特に Dundas Road という通りや教会近くはホームレスの方が多く、その多くの人は大麻をやっています。ダウントウンはバスの中でも大麻の匂いがし、独り言が多い人や叫ぶ人、他人に迷惑をかける乗客がたまに乗ってくるので注意が必要です。ダウントウンは用がなければ一人では行かない方が安全だと思います。私も2, 3回一人でダウントウンに向かったことがあるので大丈夫な時は大丈夫ですが、警戒は怠らないようにするのが重要です。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（海外危機管理サポートサービス J-TAS）		
加入期間	（ 8 ）ヶ月間	保険料	（ 19,418 ）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	UHIP		
加入期間	（ 8 ）ヶ月間	保険料	（ 5万（\$504.00） ）円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **ロンドン、オンタリオ州** ）

ロンドンはトロントからバスで2時間ほど離れた場所にある比較的小さな町です。交通手段は主に市内バスで、基本的にどこへでもバスで移動できます。治安もダウントウンは危険ではありますが、活発で平和な場所だと思います。日本食も意外と多く、特に寿司屋さんはたくさんあります。また、大学近くに大きなモールがあったり、紅葉が綺麗に並ぶ大きな公園、冬にはアイスホッケーの試合やアイススケートリンクがあったりして楽しめる場所がたくさんあります。夏は暑く冬は凍えるほど寒いですが、四季がハッキリとしていてとても綺麗な場所だと思います。冬の寒さは年によって違うらしいですが、酷いときは授業がキャンセルされることもあり、日本の都心部では中々味わえない環境を味わえます。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ヒューロン大学	所在地	ロンドン、オンタリオ州
最寄空港	トロントピアソン国際空港	空港からの距離	バスで2時間
空港⇄大学	(空港から大学内のストップまで長距離バスのみ) *移動手段		
学生数	約2000人	留学生数	約400人
学部	Business-Management and Organizational Studies Psychology Governance, Leadership and Ethics Economics Animal Ethics and Sustainability Leadership Centre for Global Studies Chinese and East Asia Studies English and Cultural Studies French Studies Global Great Books History Japanese and East Asia Studies Jewish Studies Philosophy Political Science Religion and Theology Harvard Business School Online Ivey Business School Partnership *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Centre for Global Studies *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	8:30-10:30 CGS の授業		8:30-9:30 CGS の授業 9:30-11:30 JAPANESE の授業		10:30-11:30 JAPANESE の授業
午後	授業の 予習・復習	1:30-2:30 CGS の授業	授業の 予習・復習	12:30-2:30 CGS の授業	12:30-1:30 Japanese 会話 クラブ 4:30-6:30 Japanese Culture Club

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業の 予習・復習	11:30-1:30 CGS の授業	9:30-11:30 Japanese の 授業	11:30-12:30 CGS の授業	10:30-11:30 Japanese の 授業
午後	6:30-9:30 Philosophy の 授業		授業の 予習・復習	3:30-5:30 Choir クラブ	12:30-1:30 Japanese 会話 クラブ 4:30-6:30 Japanese Culture Club

3. 履修内容

科目	CGS1023F Introduction to Global Development		
履修期間	2024/9/1~2024/12/6	単位数	0.5
授業内容／形態	グローバル化に伴い、問題視され始めた世界の不平等や開発格差について、毎週課されるリーディングを元にディスカッションをする授業。Development とは何かから始まり、その問題点や批判的に世界を捉えることを目的としている。 <授業形態> 2 時間の教授のレクチャーと 1 時間のセミナー（ディスカッション形式） <学生数> 約 35 人		
成績	83		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群 専門科目	
	単位数	2	
	担当教員	――	

科目	CGS 2003F Discourses of Global Studies		
履修期間	2024/9/1~2024/12/6	単位数	0.5
授業内容／形態	グローバル化によって変化した社会や、人々の在り方、労働について主にディスカッションを通して理解を深める授業。エミール・デュルケムやミシェル・フーコーなど有名な社会学者の文献を読み、社会の問題やこれからの在り方について知見を深めることを目的としている。 <授業形態> 教授と生徒の受け答えレクチャーと、生徒が仕切るディスカッション <学生数> 20 人		
成績	81		
YCU 振替予定	科目	Global Issues	
	単位数	2	
	担当教員	ネルム・ポール	

科目	Japanese 2601A The Cultural Foundations of Modern Japan		
履修期間	2024/9/1~2024/12/6	単位数	0.5
授業内容／形態	日本の現代の文化がどうして確立されたのか、どこに起源があるのかを歴史的にみる授業。縄文から現代までの文化を学びながら、カナダ（欧米）との違いや客観的にみた日本、また日本独特の文化観を学ぶ。 <授業形態> 教授のスライドによるレクチャー式		

	<学生数> 約 20 人	
成績	84	
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群 専門科目
	単位数	2
	担当教員	――

科目	Japanese 1630G Perspectives on Japan		
履修期間	2025/1/6~2025/4/30	単位数	0.5
授業内容／形態	この授業は、クラス名の通り「日本」についてのイメージや視点について研究する授業です。「日本」がどのように形成されたのかその歴史から、近代における社会問題や社会習慣、エチケットについてなど幅広く現代日本についてみます。海外から見る日本のイメージ像からはじめ、実際の日本の現状やイメージ形成の本質についてなど深掘りをする授業です。 <授業形態> 先生によるレクチャー <学生数> 約 20 人		
成績	85		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群 専門科目	
	単位数	2	
	担当教員	――	

科目	CGS 2002G Problems of Global Development		
履修期間	2025/1/6~2025/4/30	単位数	0.5
授業内容／形態	開発・発展について、資本主義との関係についてフォーカスを当てながら良い点・悪い点をディスカッションしていく授業です。火曜日に 2 時間、木曜日に 1 時間あり、基本的に週に 2 つ 10-15 ページの読み物が出ます。後半は環境問題についてフォーカスを当てた広義でした。 <授業形態> 火曜日：主に先生によるレクチャー 木曜日：セミナー形式のディスカッション <学生数> 約 30 人		
成績	89		
YCU 振替予定	科目	環境経済学	
	単位数	2	
	担当教員	二宮浩輔	

科目	Philosophy 1370B Form, Thought, Communication		
履修期間	2025/1/6~2025/4/30	単位数	0.5
授業内容／形態	「言葉」について、なぜ人間は言葉を話せるのが、文字や文章を意味として捉えられるのか、文字の意味や文章の意味ってなんだろう？といったことを考える授業です。そのトピックの性質上少し言語学に似ていますが、構造に注目する言語学と違って「なぜ」の部分を深掘りし、言葉はどのように人間の間で共有され意味付けされているのかを考えます。 <授業形態> 一斉授業 <学生数> 30 人		
成績	81		
YCU 振替予定	科目	理論言語学	
	単位数	2	
	担当教員	有井巴	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

初めての一人での海外渡航、そしてカナダへの留学は初めとても緊張し不安がいっぱいだったものの、最終的には満足のいく貴重な体験ができたと思います。自分の挑戦力や自立する力を培えたのを帰国してすぐに実感しました。この留学体験がなければ得られなかった知見や交流を得られて、留学前より様々なことに自信がつくようになったと感じます。

まず、確実に自身の英語力は向上し、英語を話すことに自信がつけました。留学前は英語を人前で話すことは平気でしたが、ネイティブの人と話すのは緊張し、自信をもって話すことができませんでした。ですが留学中、友人たちはもちろん、先生や授業自体が英語で積極的に関わらないとおいて行かれる環境だったため、否が応でも英語をたくさん使うことになり、気がついたら思ったことをすぐ英語で言うことが身についていました。特に自身が成長したな、自信がついたなと思うことは、分からない単語や意味を素直に「分からない」と言えることです。留学中の初めの数カ月は、友人が言ったジョークや難しい単語が分からなくても、なんとなくわかっている風に笑って誤魔化してしまっていました。ですが、英語に自信がついたからこそ、「それどういう意味？」とハッキリ聞けるようになり、より英語力の上達につながったと思います。自分が思っているよりも「知らない」ことは恥ではなく、むしろ知らないからこそ胸を張って質問をする方が自分の力になるということを、身をもって体感しました。それは日本語でも、仕事や学びにおいても同じだなということに気が付けたのは大きいなと思います。

更に、今回の留学で一番よかったなと思うのは授業でした。語学力はもちろんですが、私はそれと同じくらい日本では学べないような理論や考え方を学びたいと思い留学の道を選択しました。そのため授業に大きな期待を抱いていて、ありがたいことに、その期待以上の授業を受けることができました。上記したように CGS という分野の授業がとても面白く、自分が日本で学んできた社会学や環境問題、グローバルの問題についてより深く掘り下げて学ぶことができました。私が留学したヒューロン大学は規模が小さいため、ディスカッション形式の授業が多く生徒と先生の距離が近いのが特徴でした。そのおかげか、たくさん刺激になる意見やケーススタディ、プレゼン、ディスカッションができて楽しかったです。特にヒューロンないしカナダは留学生が多く、様々な知見や背景がある人が集まっているため、ディスカッションなどをする場合に本当に色々な立場から話す人がいます。社会学の授業でインドにルーツを持つ生徒が、「インドの伝統衣装をキレイと褒めてくれる人がたくさんいますが、自分たちはこれが日常であり普通なので、あまりキレイキレイと褒められすぎると本来の価値や意味が見えにくくなってしまってる気がする」と意見をあげていたり、中国からの留学生が自身の国の制度を例にネオリベリズムについて言及していたり、とても面白く興味深かったです。このように、日本ではあまり見かけない活発で多様なディスカッションがなされるのが印象的で、自分の刺激や学びになりました。授業以外でも、友人と話している中で感じる多様性の広がり方や寛容さがあり、日本社会とは違った空気を感じることができ、その違いに気づけたことが一番の学びだなと感じました。留学の最初は慣れない環境に不安になり緊張していましたが、全体を通して、悔いのない実りある経験になりました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今後は、3 年生ということもあり就活に集中したいと思っています。その活動の中でも、特に自身の英語力が活かせる機会を重要視したいなと思います。せっかく 8 カ月間も海外に渡航し、英語力を伸ばして自信もつけたため、その自信や経験を忘れないように、英語を使用するような環境で働きたいです。そのため、今後の就活においては英語力の活用を中心にしていきたいなという心積もりがありつつ、また就活だけでなく日々の生活や授業においても英語と離れずに過ごしたいと思っています。留学前は課題の多さや求められる英語力の高さで嫌煙してしまっていた、英語のみで行われる授業を履修したいです。更に、留学中にしていた。「モヤモヤを感じたら文字に書き出してなぜモヤモヤ感じるか考える」という習慣を続けたいです。これをするによって、自分にとって何が嫌なことなのか、なぜ嫌なのか、どうすれば改善できるかをたくさん考えることができ、とても自分の精神的な力と成長になりました。今後もその習慣を続けていき、自分の精神力を伸ばし、活かしていきたいです。

また、留学中に親のサポートのありがたさをとても実感したため、今後は親になるべく負担をかけずに自立した生活をしたいと考えています。洗濯物や料理など、自分でできる事が増えたため、実家にいる間でも手伝えることは手伝い、自分でできる事は自分ですといった責任ある自立した行動をしていきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学することにおいて、大事なことのうちの一つは生活の基盤である住む場所や環境だと思います。国が違うため生活環境は大きく変わるのは当たり前ですが、あまりにも慣れ親しんでいないような生活だとストレスが多くなり、気がめいってしまうと個人的には思います。私は今回寮生活を選び、シャワー・トイレが共同でした。今までも部活や習い事の合宿でシャワーが共同なことが多かったため、私はそこまで気になりませんでした。同じく留学に来ていた留学生は international week の間寮に泊まり、たった 1 週間でもすごいストレスが溜まったと話していました。寮生活はカフェテリアがあり、教室も外に出ずに行けるといった利点があります。また寮内での友人もできるので、何か困ったことがあればすぐに聞ける、助けを呼べるので安心ではありますが、そういった基本的なファシリティが共同でたまに汚い時もあります。友人は独立洗面台があることが譲れない生活の条件だと言っていました。やはり 8 カ月生活する場所なので、自分の生活スタイルのプライオリティを考えて住む場所は決めることをおすすめします。また、ヒューロンの寮は冬休みになると例外なく一時退去しないといけないため、冬休み中の滞在場所を確保する必要があります。私は友人が一時帰国するためその家に泊まらせてもらいましたが、当初は Airbnb を借りる予定でした。留学において滞在先はしっかりと考え、どうするかを親とも、また自分とも相談しつつ慎重に決めることをおすすめします。

個人的な意見ですが、留学は必ず自分のタメになります。最初怖くても、不安でも、最終的には行って良かったと思えると思うので、ぜひ挑戦してみてください。